

《 まるで
絵画のよう 》

錦秋の丘の風景 コキア 赤から茶色へ。

※11/4(日)までご覧いただけます。

みはらしの丘のコキアは紅葉の見頃が過ぎ、日に日に赤い色が抜け茶色っぽくなってきました。今年は天候の影響で色付きが遅れたこともあり、色が抜けるのも遅くなっています。赤から茶色に移ろう、微妙な色合いのニュアンスカラーがお楽しみいただけます。秋のグランドフィナーレにふさわしい“錦秋の風景”がご覧いただけるのは今週末までです。



撮影/2018年10月30日

◆触って確かめて 質感の変化

この時期のコキアは、夏の柔らかな質感とは異なり、ほうきのように堅くてツツンとしています。色彩の変化だけでなく、触り心地の変化も楽しむことができます。ご覧いただけるのは、11月4日(日)までで、それ以降は同じ場所で春のネモフィラの準備が始まります。

場所:みはらしの丘 本数:約3万2千本 植栽面積:約1.9ha

◆コキアの丘の裏には、黄金色の風景が

コキアが植栽されている、みはらし丘の裏側では、ススキとオギがお楽しみいただけます。青空に穂が揺れる姿はもちろん、西日を浴びて黄金色に輝く光景は圧巻。コキアの裏に隠れた、もうひとつの黄金色の風景もおススメです。11月から12月にかけて、コキアがなくなった後もご覧いただけます。



丘の裏のススキ・オギ (2018年10月29日撮影)

◆その後のコキアは『干支の巨大地上絵』の材料に

本公園の冬の風物詩となった『干支の巨大地上絵』。大観覧車の下に、来年の干支“亥”を描きます。その材料となるのが、みはらしの丘でお楽しみいただいた“コキア”です。泉の広場に保管して乾燥させたコキアを、松ぼっくりや間伐材などの自然素材と併せて使用します。

◎干支の巨大地上絵 【制作期間】11月19日(月)～12月7日(金) ※休園日を除く
【展示期間】12月8日(土)～1月6日(日)



昨年の“戌”の地上絵 (2017年12月17日撮影)

Information

みはらしの丘では、11月下旬から、ネモフィラの種まき作業が始まります。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・田代
TEL:029-265-9001(報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄)FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <http://www.hitachikaihin.jp>